

平成27年度第3回神岡地域協議会会議録

平成27年8月26日

神岡地域協議会

平成27年度第3回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	4
(1) 地域づくり事業補助金について	4
(2) 地域枠予算活用事業について	12
(3) 第3期大仙市地域公共交通計画について	14
(4) 神岡地域振興計画について	15
■その他	15
・平成27年度神岡地域協議会の視察研修について	15
■閉会	16
■署名	17

平成27年度 第3回神岡地域協議会 会議録

■日 時：平成27年8月26日（水） 午前10時

■会 場：神岡支所 3階 大会議室

■出席委員： 9名

鈴木和栄、齊藤由紀、石山美恵子、黒川 茂、
齊藤恵子、齊藤 劼、齊藤博伸、鈴木幸一、
中村淑子

■欠席委員： 7名

伊藤公仁、工藤昌子、今野公行、齊藤 亘、
佐々木 徹、佐々木康浩、鈴木美保

■出席職員： 5名

伊藤利之（神岡支所長）
石山尚英（市民サービス課長）
豊島久子（市民サービス課参事）
富樫一哉（地域活性化推進室主席主査）
今野洋樹（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
 - (1) 地域づくり事業補助金について【協議】
 - (2) 地域枠予算活用事業について【協議】
 - (3) 第3期大仙市地域公共交通計画について【協議】
 - (4) 神岡地域振興計画について【報告】
- 6 そ の 他
 - ・平成27年度神岡地域協議会の視察研修について【意見聴取】
- 7 閉 会

(午前 10時 開会)

○石山市民サービス課長 (以下「市民サービス課長」と表記)

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

定刻となりましたが、開会前に8月23日にお亡くなりになられました神岡地域選出の大仙市議会、細谷洋造議員へ黙祷を捧げたいと思います。全員ご起立ください。

黙祷。

お直りください。

ただ今から平成27年度第3回地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに鈴木会長よりご挨拶をいただきます。

○鈴木神岡地域協議会会長 (以下「会長」と表記)

おはようございます。今、黙とうを行いましたけれども、かつて我々地域協議会のメンバーであった細谷さんがお亡くなりになりまして、葬儀が30日になっております。細谷さんは神岡地域協議会の第1期の委員でございまして大変熱心な方で様々な提案をしていただきました。この間まで、元気なお姿をお見かけしておりましたが、まさかこのように急なお亡くなり方をされるとは誰も思っておりませんでした。心からご冥福をお祈りいたします。

今まで30度の気温でしたが急に下がってしまいまして服装を間違ったかなと感じております。まさかこのまま涼しい日々が続くとは思いませんけれども、エアコンを使う必要もありませんので、少しは過ごし易いかなと感じております。今、FMはなびが放送されておりますけれども、音も大変鮮明でスタッフのアナウンスもプロの様に上手です。放送される音楽も私好みで常に車は、FMはなび 87.3MHz です。皆さんもひとつよろしくお願いいいたします。

朝聞いておりましたら各地域の話題等を放送しておりまして、「ふるさと神岡を語る会」についても放送されたようです。機会がありましたら進捗状況をご説明いただきたいと思います。今日は今までにないやり方で平和中学校の生徒さん達が自分たちの企画した内容についてプロジェクターを使って説明してくださるそうですので、温かく迎えて進めて参りたいと思います。今日はよろしくお願いいいたします。

○市民サービス課長

ありがとうございました。

続きまして、伊藤支所長よりご挨拶を申し上げます。

○伊藤神岡支所長 (以下「支所長」と表記)

本年度、3回目の地域協議会をお願いいたしましたところ、委員の皆様にはお忙しい中

ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、本日の協議会で審議いただきます案件は、地域づくり事業補助金他3件でございます。それでは、前回の協議会以降の支所管内の主な事項について、いくつか報告させていただきます。

最初に消防団関係でございます。6月28日に神岡地域の消防操法訓練大会が開催されております。小型ポンプ操法の部は8チームが参加し、規律訓練の部は1・2分団混成チームが出場しております。操法の部の結果は、優勝は第2分団の2班で7月18日に行われました市郡消防訓練大会に出場しております。大会結果は、出場14チーム中9位でございます。また、規律訓練の部は出場14チーム中14位という結果でございます。それから、7月11日に36回目の東京嶽雄会がスクワール麴町で行われました。ここ数年参加者が減ってきておりましたが、昨年の31名から今年は45名の出席ということで久々に盛会裏に総会及び交流会が行われております。それから7月25日でございますが、集中豪雨による被害がございまして、斉内川が氾濫して中仙地域の清水地区等で大きな被害がございました。市としても災害対策本部を設置いたしました。神岡支所管内でも河川の水位が上昇しないか非常に心配しておりましたが、氾濫注意水位5mに対して夕方の6時50分の最高水位が4m61cmでございました。従って被害は1件もございませんでした。それから7月26日から3日間、南外地域で行われました全県550歳野球大会で大浦クラブが準優勝しております。あと少しで優勝という初めての快挙でございます。同じく野球関係でございますが、8月7日に全県500歳野球大会の抽選会が秋田市の文化会館で行われております。新聞等で報道されておりますので委員の皆さんもご存じかと思いますが、昨年の181チームを3チーム上回る184チームがエントリーしております。もちろん過去最高のチーム数です。試合の方は来月の19日から5日間行われる予定です。昨年は地元の大浦クラブが見事に準優勝という快挙ございましたが今年も健闘が期待されると思います。それから「ふるさと神岡を語る会」については、広報等で周知いたしまして参加者を公募しておりましたが、8名の方からお申し込みをいただきまして7月16日に第1回目、8月19日に第2回目を開催しております。それぞれ故郷への思いを込めた活発な意見交換が行われました。以上の報告を申し上げまして挨拶とさせていただきます。

○市民サービス課長

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例8条4項の規定に基づきまして、鈴木会長にお願いいたします。

○会長

はい。それでは会議を始めたいと思います。本日、伊藤公仁委員、工藤昌子委員、今野公行委員、齊藤 亘委員、佐々木徹委員、佐々木康浩委員、鈴木美保委員より、欠席の届けが出されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますの

で、会議は成立していることを報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、14番鈴木幸一委員と16番中村淑子委員にお願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。

はじめに、(1) 地域づくり事業補助金についてであります。申請内容について事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

【(1) 地域づくり事業補助金について、配布資料No. 1に基づき説明】

○大仙市立平和中学校 生徒会執行部（以下「生徒会執行部」と表記）

【被災者招待交流活動内容について、プロジェクターを用いて説明】

説明資料「支援から交流へ ～絆が生み出す未来への架け橋～」

○会長

中学校の皆さん、どうもありがとうございました。8月1日に中学校の生徒の皆さんが各家を回って鉄くず等を回収している姿を拝見しました。私も軽トラック1台分の鉄くずを中学校へ直接持参しました。皆さんの頑張りに感謝したいと思います。

それでは、委員の皆さんから質問があると思いますので伺ってみたいと思います。委員の皆さんから質問はありませんでしょうか。

校長先生もお見えですので何か補足することがありましたらお願いいたします。

○大仙市立平和中学校 今井 聡校長（以下「今井校長」と表記）

8月1日の鉄くず回収については、神岡地域総力を挙げてご協力をいただきましてありがとうございます。今年は鉄くずの買取り価格が下がっておりまして、去年は1kg当たり25円でしたが、今年は17円ということで3割以上下がっております。そのために回収準備のスタートを早くしまして、4月から鉄くずを集めておりました。8月1日当日の分も合わせて1,084,280円を集めることができました。

本当に神岡地域の皆さんのお陰だと感謝しております。これを基に北日本花火興業さんと和火屋さんにご協力をいただいて大槌町で花火大会を開催することになります。メインの活動は活動当初から実施しております仮設住宅に暮らすお年寄りとのグラウンドゴルフ大会です。

震災後から仮設住宅にずっと暮らしておられまして、すでに4年半が経過しております。大変難儀されておるとおもいます。子供たちが行って一緒にグラウンドゴルフをすることを非常に楽しみにされておりますので、皆様方からのご協力をお願いいたします。

今年の子供たちは支援から交流へということで、これまで大槌町へ出向いておりま

したけれども、今年は向こうから来ていただいて交流を行うことがメインになっています。それが今年度の生徒会の目玉事業になっておりますので、ご理解いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○会長

はい、ありがとうございます。それでは、私から2点程質問をさせていただきます。交流対象には大槌町の中学生が入りますでしょうか。

○今井校長

そのことについては、私からご説明させていただきます。私の前任校が大仙市立太田中学校でしたので、震災当時から大槌中学校の生徒さんとは交流しております。

震災当初は良かったのですが、その後に震災の記憶を中学生に聞くと、また震災のことを思い出さなければならないので、記憶をフラッシュバックさせるのは好ましくないだろうということで平和中学校に赴任してからは仮設住宅に暮らすお年寄りと交流するようにしております。

花火大会を開催することによって交流する年齢層が広がりましたので、今年はおもっと若い人達にもご協力いただいて交流したいと思います。

○会長

もう1点の質問です。総事業費362,400円では足りないと思いますが、実施はどの程度の経費が掛かっておりますでしょうか。

○今井校長

今年、この事業を子供達が考え出したもので、嶽の湯さんの協力を得まして、一人当たり8,000円で泊まれることになりました。ですので、参加者が50人だとすると400,000円。それとバス代の160,000円を合わせると560,000円程度になります。このうちの300,000円を補助していただくことになります。

○会長

残りの資金は鉄くず回収の収益から捻出するのですか。

○今井校長

鉄くず回収の収益は、大槌町の花火大会と神岡南外花火大会の御礼花火のために使用しますので招待活動には使用しません。

○会長

皆さん、どんなことでも構いませんので質問はございませんか。

○齊藤 功委員

大槌町から神岡地域へおいで下さる方々にも、ある程度の自己負担があるのでしょうか。

○今井校長

はい、そのように考えておりますが、他の部分で捻出できるのであれば、そちらから充当したいと考えております。やはり、大槌町が震災後の復興が一番遅れている地域だと思います。首長さんが一番最初に津波で犠牲になられておりますので、ですからまだ仮設住宅から外に出て新しい住宅を建てる目途が立っていない地域ですので、こちらの方からお金のことについて、なかなか言い出すことができずにいます。なお、昨年あたりから大槌町でも費用をご負担くださる様なお話はいただいております。

○齊藤 功委員

ありがとうございます。大仙市と友好提携を結んでいる市町村について、各団体が交流する際は自己負担で交流を行っております。しかしながら、震災後の苦しい生活の中で神岡地域においでいただくにあたって、自己負担をしてくださることは大変なご努力と善意がなければできないことだと思います。補助金の上限が30万円ということで大槌町の方々に自己負担が掛かってしまうということについては、後で我々にもう少し相談の余地があると思います。非常に良い取り組みだと思っておりますので、是非成功することを期待しております。

○黒川 茂委員

報償費4,000円の50人分で合計20万円とありますが、これはあくまでも謝礼という形で支払うのでしょうか。被災地体験や伝統芸能を披露いただいて、それに対して謝礼をお支払いするという認識でよろしいでしょうか。

○今井校長

先ほどもお話ししましたが、いらっしゃる方々の自己負担額が大きくなると大変だろうということで、報償費というかたちで支出したいと考えております。子供たちの発表にもありましており、ステージ発表の中で震災について語っていただくパネルディスカッションや地域の伝統芸能の鹿子踊りを披露してくださる予定です。そういった活動に対して一人当たり4,000円の報償費を支出したいと考えております。

○齊藤 博伸委員

事業内容について、「物産の販売」とありますが別の団体や商工会等が来て下さるのでしょうか。それとも参加者自身が物産の販売を行うのでしょうか。

○今井校長

先ほど説明いたしましたとおり、大槌町で花火大会を開催したことにより、向こうの方々との交流の年代が広がりました。大槌町の若手経営者で組織している「はまぎく若だんな会」という団体がございます、今年の花火大会にご協力いただけることになっております。そのメンバーの中に菓子店や海産物、飲食店を経営されている方がおりますので、その方々も参加者として同行して当日に販売していただきます。

○中村 淑子委員

生徒さん達は、勉強の他にこのような事業を企画して社会勉強を体験することで、非常に良い経験をされているなど感心しております。学校の先生方も様々な面で幅広く子供達を教育されているなど感じました。非常にありがたいことだなと感じました。

○会長

この事業については、既に大槌町と協議を重ねて進めているようです。他に質問はありませんか。

○齊藤 功委員

大槌町に行って花火大会とグラウンドゴルフ大会を開催する際は、平和中学校の生徒は何人くらい行かれますか。

○今井校長

例年、生徒全員が大槌町に行っております。今年は全校生徒115名と教職員全員です。また、保護者の方も10名程向こうに行ってお手伝いしていただきます。

○会長

この後、協議会の委員がこの事業について協議しますが、補助金額が申請額の30万円を下回った場合、事業が実行できなくなることはありますか。

○今井校長

大槌町からの参加者が50名の予定で宿泊施設として嶽の湯を予約しております。先日確認しましたら30名程の申込みがあるそうです。予定の50名に満たない場合は、事業総額が少なくなると思っております。

○会長

申し上げづらい事ですが、バスの借り上げ料の部分について、大仙市のバスを使用することはできないでしょうか。

○今井校長

大仙市のバスを使用すると神岡地域と大槌町とで2往復しなければなりません。今回使用するバスは、はまぎく若だんな会のメンバーに城山観光というバス会社を運営されている方がおられます。そちらのバスを使用すると1往復で済みます。

平和中学校の生徒が大槌町に行く場合は、バスの借り上げ料について予算化されておりまして、22万程度掛かります。正直なところ、城山観光の方が1往復分で済みますので安くなります。

○齊藤 功委員

この事業について、今年度だけでなく来年度以降も継続される予定でしょうか。来年以降も継続されるようであれば、神岡地域の一般参加者の募集もあっていいのではないのでしょうか。

○今井校長

お配りした資料にも記載されておりますとおり、子供たちが大槌町に行くようになったことで生まれたご縁でございますので、これまでは大槌町に行くのみでしたが、大槌町から来ていただくということで、神岡地域と大槌町とで相互の交流が続いてくれればと思っています。人的な交流だけでなく、物的な交流も活発になって大槌町の吉里吉里地区と大仙市神岡地域が相互に行き来する交流に発展していけるように、この事業を通してその道筋を付けたいと考えております。そのように考えておりますので、来年も続けて行けるように様々な方法を考えております。

○石山 美恵子委員

子供たちの努力が良く感じられると思います。私たちが中学生の頃はこのような災害はありませんでしたが、自分たちで事業を企画するという事はなかったと思います。当時は生徒会の話題も生活の規律に関する内容でした。今の生徒さんは自分達がまず第一歩を踏み出して、先生方が後押しするという事で、とても良い活動をしているなと感じました。応援していますので頑張ってください。

○鈴木 幸一委員

地震や津波についての貴重な体験談を聞くことができるとと思いますので、これからの生活の参考にしていただきたいと思います。いつ大災害が起こるかわかりませんので、少しでもこの経験が防災活動に応用できるように生徒さんや先生方に考えていただきたいと思います。

○会長

ほかにございませんでしょうか。ないようですので、平和中学校からの説明は以上とさせていただきます。平和中学校の皆さん、ありがとうございました。ここで片づけもありますので、暫時休憩といたします。

(片づけ後、平和中学校の皆さんが退室し会議を再開)

それでは、会議を再開いたします。今の平和中学校の件について集中的にご審議願いたいと思います。まだ、案件はありますが、この件についての審議を終了してからお願いします。今、生徒さん並びに校長先生から説明がありましたが、地域協議会からの補助が可能かどうかご審議願います。

大仙市内でこのような事業を企画している中学校はありますか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

先ほど今井校長先生も言われましたが、大槌町と大仙市太田地域で交流を行っております。あと、南外中学校でも南三陸町との交流がございまして、前年度に地域枠予算からの支出がありました。補助率6分の5で上限30万円の補助をした実績はございます。ただし、南外中学校の場合は、先ほど齊藤副委員が言われたとおり生徒だけでなく、地域の住民も巻き込んだ形で向こうへ出向いております。

○会長

南外地域は南三陸町と交流しているようですが、太田地域は神岡地域と同じく大槌町との交流ですか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

はい。同じです。今井校長先生が太田中学校長をされていたときに大槌町との交流の礎を築いて、現在も交流されております。また、今井校長先生が平和中学校に赴任されてからも同じような形で大槌町との交流を引き継いでおります。

○会長

事業の財源として頼るところは地域枠予算でしょうね。正直なところ、今年度の地域枠予算の支払い実績と予算残額を考慮して補助することは可能ですか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

予算残額についてですが、例年であればⅠ型事業は優先順位を付けて、年度末に予算残額を考慮しながら実施しております。従いまして、Ⅱ型・Ⅲ型。いわゆる市民の皆さんが主体となって実施する事業に対しての補助や支出を重点的に配慮することが本来の地域枠予算のあり方だと考えております。

○齊藤 由紀委員

平和中学校の行事予定についてですが、9月に大槌町に出向いて花火を上げて、翌月に平中祭に招待するという事でハードスケジュールといった印象を受けます。できれば、年1回の行事で良いのではないかと思います。

○支所長

今、齊藤委員が言われたとおりだと思います。最初に今井校長先生から支所に対して、この件についての話を伺ったのが今年4月の入学式でございました。今回は4年目ですが、これまでの3年間は大槌町に行って吉里吉里地区の一般住民との交流を行っております。その際に一方的に出向くのではなく、神岡地域に来ていただければという話になったのではないのでしょうか。そのため、今年の事業から「支援」ではなく「交流」という言葉が使われるようになりました。

来年度以降の事業の方向性についてですが、大仙市として負担できる部分として、大槌町へ出向く際のバスの借上げ料については大仙市教育委員会の予算で対応しております。今回の様に被災地側から大仙市に招く場合は、大曲の花火への招待事業として平成23年度から5年続けて実施しております。このように市として被災地との交流事業を引き続き実施しておりますので齊藤委員が言われましたとおり、来年以降の事業についても校長先生の意向を確認しながら十分検討していかなくてはならないと考えております。

○齊藤 劭委員

当時の交流のきっかけは震災の見舞いという形で始まったと思いますが、今後地域間どうして交流するのであれば大槌町の中学生も神岡地域に招待して中学生同士の交流を図ってはどうかと思います。今回は平和中学校の生徒が大槌町に出向いて、あちらの一般住民の方々とグラウンドゴルフ大会を開催したことがきっかけで企画された事業だと思いますので、平和中学校の生徒と大槌町の一般住民との交流ですよ。

○支所長

他の中学校の被災地交流は、生徒同士の交流がほとんどです。太田中学校では、今井校長先生がいらっしゃった頃から大槌中学校との交流を実施しております。

○会長

大槌中学校としてもこれまでの太田中学校との交流の他に平和中学校とも交流するとなると負担を掛けるかもしれませんね。しかし、本来は生徒同士の交流がメインであって欲しい感じがしますね。そういった部分についても中学校の意向を踏まえて、交流のあり方を検討していただきたいと思います。一般住民との交流については、神岡地域の自治会連合会から実施していただいても良いのではないのでしょうか。

○齊藤 劭委員

その件について、先ほど校長先生ともお話しさせていただきました。震災を機にして交流が生まれたということで、一般の方が神岡地域にいらっしゃるのであれば住民同士の交流まで発展していきたいと思います。そのために協議会や様々な団体に声を掛け合って、各自治会へも相談して今後の事業の方向を固めていきたいと思っております。

○会長

この事業は貴重で意義のある事業だと思います。ただ、地域枠予算を活用するうえで今後の事業の展開を十分検討する必要があると思います。

ということで、採決してよろしいでしょうか。賛成の方は手を上げてください。

(委員全員が挙手)

○会長

はい、全員賛成ということでありがとうございます。大槌町の方々が平中祭にいらっしゃる際は、たくさんの一般市民が来校していただけるように、FMはなび等を活用して事業の周知を図ってもらいたいと思います。

それでは次の案件に入ります。事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

【地域づくり事業補助金について、配布資料No.1 地域枠予算申請調書に基づき説明】

○会長

まず、第9回「納涼の夕べ」から協議していきたいとおもいます。事業費 330,906 円、交付申請額 50,906 円です。この件について質問はございませんか。この件については、全て実施してしまってから申請になります。今年も若い人達から参加いただきまして、北檜岡地域も明るい兆しが出てきたなという感じがします。特に今年はカラオケの機材が充実していたことも幸いであったと思います。

特に質問がなければ承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。続きまして「かみおか地域文化祭」事業費 361,000 円、交付申請額 361,000 円です。この件について実行委員長の齊藤 劭委員から補足する事が

ありましたらお願いいたします。

○齊藤 劭委員

今年は、自衛隊の車両を展示いたしまして、記念撮影用に子供用の制服を準備いたします。毎年、神岡中央公民館の方々から良いイベントの企画を考えていただいております。ぜひ皆さんご家族をお誘いの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

○会長

ありがとうございました。特に質問がなければ承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

皆さんから承認いただきましてありがとうございます。Ⅱ型、Ⅲ型事業の協議は以上とします。続いて(2)地域枠予算活用事業について協議いたします。事務局から説明をお願いします。

○事務局(地域活性化推進室 富樫主席主査)

【地域枠予算活用事業について、配布資料No.2 実施類型Ⅰ型事業調書に基づき説明】

○会長

それでは、Ⅰ型事業について一括で協議したいと思います。皆さんからご意見・ご質問等ございませんか。

○齊藤 博伸委員

確認ですが、「ふるさと神岡を語る会」の旅費に関して、当初から予算化されておりましたでしょうか。

○事務局(地域活性化推進室 富樫主席主査)

いいえ。当初予算には予算化されておりませんでした。この会は今年度に入ってから市長協議を経たうえで実施することになった事業です。

○齊藤 博伸委員

そうしますと、今回はこの事業の旅費に関することについて、承認してもらいたいという提案ですね。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

はい。そうでございます。

○会長

この会の開催日や参集時間については、集まりやすい時間帯に設定して実施されていますか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

それにつきましては、先日8月19日に開催した語る会において、事前にこのあとの9月から11月までの開催日時や場所をお知らせいたしました。そのうえで、皆さんのスケジュール調整をお願いしております。参加者からの意向でこのように参加しやすい工夫をさせていただいております。

○会長

この会で話し合った内容について、提言できる形になれば地域枠予算に反映できるということですよ。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

基本的には、地域活性化事業ということで、この後の来年度予算の編成に向けまして具体的に何を実施するか。また、どの程度費用が掛かるかについて11月までの間に詰めていきたいと思っております。実際に企画した地域活性化事業は来年度実施の予定としておりますので、その経費につきましては市の来年度当初予算に計上いたします。

なお、この語る会で様々なイベントや事業に関するアイデアを出していただいております。その中には、当初予算に計上するよりも市民の皆さんが主体になって地域枠予算を活用して実施した方が良いものもありますので、アイデアを事務局で蓄積して事業の実施に結び付けたいと考えております。

○会長

他に質問はありませんか。

○齊藤 劭委員

参加者のお名前と顔が一致しませんので、年代を教えてくださいませんか。

○事務局（地域活性化推進室 今野主査）

【参加者の年代について、配布資料No.2-3 「ふるさと神岡を語る会」

参加者名簿に基づき説明】

○会長

他に質問はありませんか。なければ承認ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。続きまして案件の(3)「第3期大仙市地域公共交通計画」について協議を行います。事務局から説明をお願いします。

○事務局(市民サービス課 豊島参事)

【第3期大仙市地域公共交通計画について、配布資料No.3 地域公共交通に関する市への意見書(案)に基づき説明】

○会長

ありがとうございます。この件について質問はありますか。

○齊藤 功委員

私、地域公共交通に関する担当になっておりまして、大仙市や秋田県の交通対策にも参加させていただいております。その中で、感じていることとして各地域によって事情が様々で現在の住民の方が満足している状況ではないと思いますが、今後も各地域の意見を聞きながら神岡地域でも利便性のある地域公共交通を目指して参りますのでよろしくをお願いします。あと、皆さんご存知かと思いますが神岡地域を通過する羽後交通の路線バス(杉山田線)と南外線は赤字バス路線になりましたので、今年の4月から大仙市のコミュニティーバスになりました。バスはこれまで通り羽後交通の車両ですが、大仙市で運行するバス路線になりました。料金は、以前よりも安くなっておりますのでご利用ください。

○会長

今、説明いただきましたけれども他に質問はありませんか。ここ数年バスに乗車しておりませんが、運賃はどの程度安くなっておりますか。

○事務局(市民サービス課 豊島参事)

今までの料金から3割程度安くなっております。今までは大曲バスターミナルから杉山田線の終点まで970円でしたが、現在は700円になりました。端数なしの100円単位で設定した料金表を使用しております。

○会長

タクシーの10分の1程度ですね。

○齊藤 功委員

問題なのは、団塊の世代の方々がもうすぐ70歳を超えて免許返納をする年齢になったとき、コミュニティーバスや乗り合いタクシーが増えると予想されます。その際、どのように地域公共交通を整備するかを検討していく必要があります。

○会長

他に質問はありませんか。皆さんの意見もだいぶ反映された意見書ですので、これを案として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。続きまして報告案件の(4)「神岡地域振興計画」について事務局から説明をお願いします。

○事務局(地域活性化推進室 富樫主席主査)

【神岡地域振興計画について、配布資料No.4 神岡地域振興計画(案)に基づき説明】

○会長

それでは、報告案件ではありますが、「神岡地域振興計画」についてご質問等ございましたらお願いします。この計画どおりに進めば最高の地域ができますね。

それでは、次第の6. その他でございますが、事務局から何かございますか。

○事務局(地域活性化推進室 富樫主席主査)

神岡地域協議会の視察研修について、実施時期と研修内容について意見を聴取する

- ・実施時期について、次回の第4回地域協議会終了後に視察研修を行うか、または別の日程を組んで実施する。
- ・研修内容は、昨年度と同様に視察とするか。また、視察する場所はどこが良いか。
- ・委員からご意見や要望を伺ったうえで事務局から提案する。

○会長

事務局側から何か案はありますか。

○支所長

特に案はございませんが、去年は寒い時期に視察研修を実施しております。また、できる限り農繁期を避けて実施したいと思います。なお、神岡地域内の公共事業の現場を視察したこともありました。遠慮なく皆さんのご意見を伺いたいと思います。

○齊藤 功委員

お仕事をされている方もおられますので、できれば協議会と同日開催していただくと助かります。私も他の会議や研修の予定もありますので、そのように配慮していただけると大変助かります。

○会長

研修会の日程や内容については、事務局にお任せしたいと思います。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

研修日程については、次回の4回目の協議会と同日開催ということによろしいでしょうか。内容については事務局で検討してご提案させていただきます。

○齊藤 功委員

前回の協議会で話題になりました「協和地域協議会研修会」について、どのように開催されたのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 富樫主席主査）

詳しい情報は得ておりませんが、協和地域のみでの単独開催になったようです。

なお、来年度以降に西部の合同委員研修会を開催するとすれば、過去に西部で実施していた経緯もございますので、委員の皆さんから賛同いただけたらと思います。また改めて皆さんにお諮りいたしますが、来年度以降は単独ではなく西部合同で委員研修会を開催したいと考えております。

○会長

特に質問がなければ、これをもちまして本日の地域協議会を終了させていただきます。本日は長い時間、大変ありがとうございました。

○市民サービス課長

大変おつかれさまでした。以上をもちまして、平成27年度第3回地域協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

(12時10分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

鈴木 幸一

中村 淑子
